

# 都市再生整備計画 事後評価シート

ほくぶふくじかくけいせい だい き  
北部副次核形成地区(第3期)

平成31年2月

埼玉県 越谷市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	越谷市	地区名	北部副次核形成地区(第3期)			面積	191.4ha				
交付期間	平成26年度～30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1896.7百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		道路:市道2050号線外4路線、公園:千間台西公園外2箇所、土地区画整理事業:西大袋地区										
	提案事業		地域創造支援事業:大道集会所										
	当初計画から削除した事業		基幹事業		提案事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業		基幹事業		提案事業		道路:都市計画道路大竹中央通り線、都市計画道路袋山恩間線		・都市計画道路2路線の整備の追加については、土地区画整理事業の進捗により当該箇所の整備可能となったことから、北部副次核形成に向けて土地区画整理事業施行地区とその周辺地域との連携を向上させることにより、更なる整備効果の発現を図るため、地域間を結ぶ都市計画道路の整備を当計画に追加した。		・都市計画道路2路線の整備の追加については、目標を定量化する指標等に関し、特に影響はない。		
交付期間の変更		当初	平成21年度～25年度		変更		なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内人口	人	13,306	H25	15,000	H30	—	13,279	×	あり なし	土地区画整理事業地内の人口は増加しているものの、目標値には達しなかった。今後の見込みとしては、千間台西地区の人口増加は難しいと思われるが、土地区画整理事業の進捗に伴う宅地開発等により地区内人口は増加すると思われる。	—
	指標2	駅利用者数(大袋駅)	人/日	8,733	H23	9,300	H30	—	9,089	×	あり なし	駅利用者数は増加しているものの、目標値には達しなかった。今後、土地区画整理事業の進捗に伴う宅地開発等による地域人口の増加により、駅利用者数も増加すると思われる。	—
	指標3	公園を使用したイベント回数	回/年	23	H23	27	H30	—	27	○	あり なし	当計画による公園等の都市基盤整備を行ったことにより、地区内住民等によるイベント開催等、コミュニティの形成、活性化に貢献し、目標を達成できた。	—
	指標4										あり なし		—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		近隣小学校児童数	人	1,405	H25		—	1,489			近年の少子化、人口減少傾向に反し、当計画に伴う都市基盤整備の進捗により、児童数が増加している。また、整備した道路の一部は通学路になっており、児童の安全が図られた。	—
	その他の数値指標2		計画区域内のバス停留所数	箇所	8	H25			17.0			本計画による整備が進んでいることから、当区域内を通り、せんげん台駅・大袋駅間を循環するバス路線が開通され、交通の利便性が向上した。	—
4)定性的な効果発現状況	-												
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
			なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				地区内人口については、事業の効果を確認する為、継続的に数値を把握する。		
	住民参加プロセス		区画整理情報誌による広報活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 区画整理情報誌による広報活動については、区画整理の終了まで継続的な広報活動を行い、住民との意思疎通および情報の共有を図る。		
持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も良好な住環境を持続させていくために、行政と住民との意思疎通および情報の共有を図る。			

## 様式2-2 地区の概要

### 北部副次核形成地区(第3期)(埼玉県越谷市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値			
大目標 市北部の拠点となるにふさわしい、安全で快適な魅力あるまちづくりを図る。 小目標① 西大袋土地区画整理事業を中心とする良質な住環境を有する快適な住宅地の供給。 小目標② 西大袋土地区画整理地区内道路の整備と併せて隣接地域の既存道路改修による交通環境および交通利便性の向上。 小目標③ 計画的な公園整備による潤いと魅力ある住環境の形成。	地区内人口	単位:人	13,306	H25	15,000	H30	13,279	H30
	駅利用者数(大袋駅)	単位:人/日	8,733	H23	9,300	H30	9,089	H30
	公園を使用したイベント回数	単位:回/年	23	H23	27	H30	27	H30



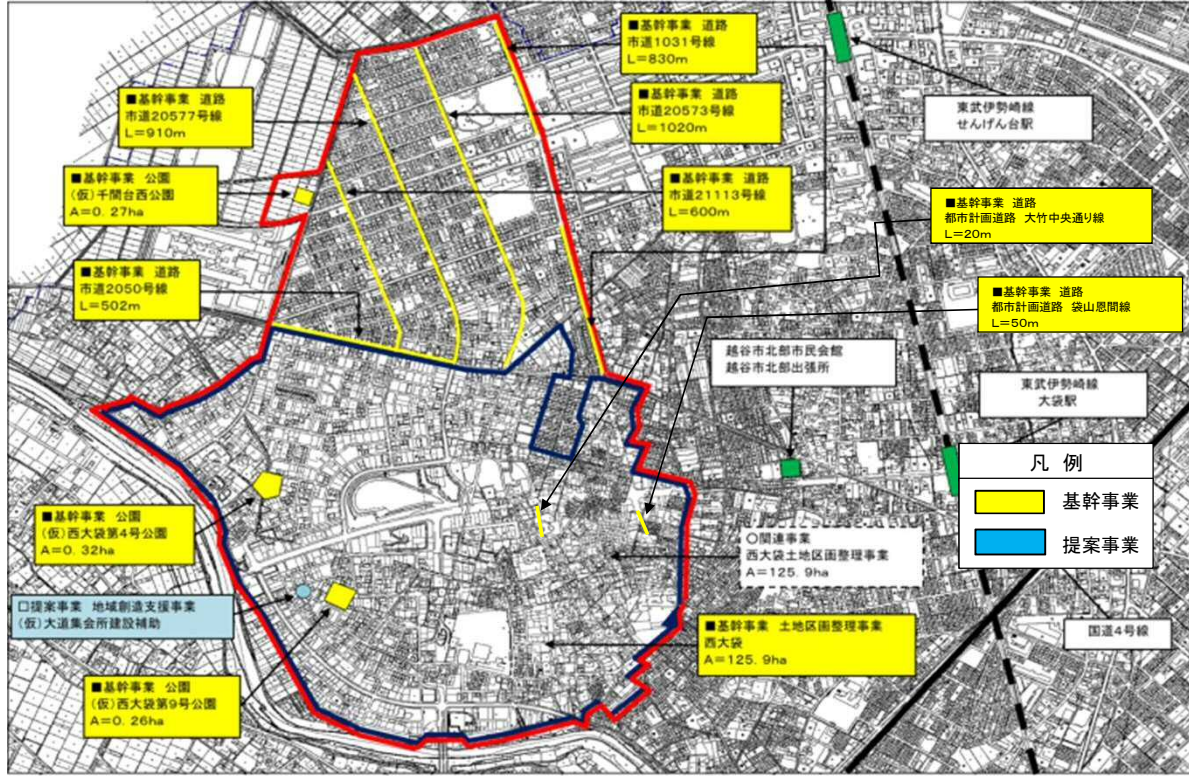
基幹事業 市道20577号



基幹事業 (仮)千間台西公園



基幹事業 市道2050号



(仮)基幹事業 西大袋第4号公



基幹事業 市道1031号



(仮)基幹事業 西大袋第9号公



基幹事業 市道20573号



提案事業 大道集会所



基幹事業 市道21113号

#### まちの課題の変化

- 市北部地域の拠点にふさわしい整備を進めるため、土地区画整理事業による都市基盤整備と合わせ、地区中心部の拠点施設エリア(公園、拠点施設、調整池)の整備推進を図る。
- 区画整理事業による宅地開発に伴う地区内人口の増加により、地区最寄り駅の駅利用者数が増加が見込まれることから、駅へのアクセス道路、バス路線等の交通網の整備を図る。
- 地区内を東西及び南北に走る都市計画道路の整備に伴う自動車交通量の増加が見込まれることから、安全な歩行者空間の確保を図る。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 市北部地域の拠点づくりを進めるため、土地区画整理事業による都市基盤整備と合わせ、地区中心部の拠点施設エリア(公園、拠点施設)の整備を進める。
- 土地区画整理事業等による都市基盤整備を進め、まちづくりの中心となり拠点施設エリアと地域間を連携する都市計画道路の早期供用開始を図る。
- 整備済みの道路、下水道、公園等についても定期的な点検・補修等を行い、良好な生活環境の継続を図る。
- 区画整理情報誌等による継続的な広報活動を行い、住民との意思疎通および情報の共有を図る。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			





※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと





添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	事後評価	達成度	あり	なし	
指標1	地区内人口	人	住民基本台帳にて、平成30年12月1日時点の地区内人口を算出。		13,306	H25	15,000	H30	モニタリング	—	—	モニタリング	—		●
									事後評価	確定見込み	●	13,279	事後評価		
指標2	駅利用者数(大袋駅)	人/日	鉄道事業者からの資料により、大袋駅の平成30年度1日平均乗車人員数を算出。		8,733	H23	9,300	H30	モニタリング	—	—	モニタリング	—		●
									事後評価	確定見込み	●	9,089	事後評価		
指標3	公園を使用したイベント回数	回/年	地区内都市公園でのイベント開催実回数より算出。		23	H23	27	H30	モニタリング	—	—	モニタリング	—		
									事後評価	確定見込み	●	27	事後評価		
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み			事後評価		
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	西大袋土地区画整理事業地内の人口は増加しているものの、目標値に達しなかった。千間台西地区において人口の減少が生じている。	今回の調査に当たり、目標設定時の従前値の集計に1,189名の重複があったことが判明し、実際の従前値は、12,117人であった。結果として、西大袋土地区画整理事業地内の人口は、1,469人増加、千間台西地区で307人減少、合計で1,162人の増加であった。
指標2	駅利用者数は、増加したものの、目標値には達しなかった。今後、土地区画整理事業の進捗に伴う宅地開発による人口の増加により、駅利用者数も増加すると思われる。	評価値は、平成29年度越谷市統計年報による平成28年度の1日平均乗車人数を採用しており、目標値の計測年度の平成30年度と時間差が生じている。(従前値も平成24年度統計年報による平成23年度1日平均乗車人数を採用)
指標3	当計画による公園等の都市基盤整備を行ったことにより、地区内住民等によるイベント開催等、コミュニティの形成、活性化に貢献し、目標を達成できた。	評価値の平成30年度イベント回数は、公園緑地課の受付台帳における平成31年3月までの予約状況を含むもので、平成31年1月から3月までの間に増減する可能性がある。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	近隣小学校児童数	人	平成25年5月1日時点の近隣小 学校児童数を基に、平成30年5 月1日現在の児童数を算出。			1,405	H25	モニタリング	—	—	本計画の進捗に伴いファミリー 世帯が居住することによる児童 数の変化を確認するため。	目標を定量化する指標の地 区内人口と関連
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標2	計画区域内のバス停留所数	箇所	平成25年4月1日時点の計画区 域内に存するバス停留所数と、 平成30年4月1日現在のバス停 留所数を比較する。			8.0	H25	モニタリング			本計画の進捗に伴い道路整備 が進み、地区内を運行するバ ス路線が延伸されたことから、 交通利便性の向上を確認する ため。	今後は、地区内のバス利用 者数の変化も把握したいが、 調査方法に課題がある。
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
区画整理情報誌による広報活動	予定どおり実施した	● 【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度5月 【実施結果】事業進捗状況や今後の予定及び事業計画の変更等の区画整理に関する諸情報を住民に広報したことにより、まちづくりに対する行政と住民との意思の疎通及び情報の共有が図られた。	今後も継続的な広報活動を行い、住民との意思疎通および情報の共有を図る。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			





#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	市街地整備課が主体となり、事業関連各課(都市計画課、道路建設課、公園緑地課)と協議	各事業担当課と意見交換を実施(12月～1月)	市街地整備課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
土地区画整理事業による道路整備や建物移転等の着実な進捗。下水・幹線道路等の整備。	厳しい財政状況のなか、限られた予算で建物等移転や道路・下水道、公園等の整備を行い、今計画期間内において幹線道路の供用を開始する等、利便性、快適性を有する住環境の創出を図り、地区内人口が増加した。	財政状況や家屋移転の状況等により道路整備や宅地開発が遅れ、区画整理事業の進捗に遅れが生じている。引き続き、保留地公売の強化等を図り、自主財源の確保に努め、事業の着実な進捗を図っていく。	
西大袋地区と千間台西地区を結ぶ道路の整備に係る効率的な事業執行。	千間台西地区の道路改修については、計画した路線の改修工事を完了した。	両地区を結ぶ幹線として都市計画道路袋山恩間線の整備が欠かれないが、土地区画整理事業の進捗の遅れに伴い未整備となっており、早期の完成が必要である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。



添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	良好な生活環境の開発・持続	生活環境の向上及び歩行者の安全に直結する道路・下水・公園等の整備（特に整備済みの道路・下水・公園等については、定期的な点検・補修等を行う。）	・道路、下水、公園、公共施設等の定期的な点検 ・必要に応じて補修工事等の実施
	魅力的な市街地の整備	居住環境を整えるのと同時に、商業業者等が積極的に地区内に進出し、また出店後も安定した活動が出来るよう、周辺環境整備等を引き続き行っていく。また、市北部の核となる拠点施設の整備を図る。	・商業地、拠点施設エリア周辺の環境整備（道路、公園等の整備）

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	西大袋土地区画整理事業の着実な進捗	H30年度末において事業進捗率（道路整備延長ベース）が約68.3%（見込み値）である西大袋土地区画整理事業について、自主財源の確保に努め、残された道路工事や移転補償等を継続的に行っていく。	西大袋土地区画整理事業
	市北部地域の核となる拠点施設エリアの整備	西大袋地区の中心部に計画する拠点施設エリア（公園、拠点施設、調整池）の整備を進め、魅力ある市街地の形成を図る。	西大袋第1号公園の整備

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4-②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4-③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5-②）を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

**添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	地区内人口	人	13,306	H25	15,000	H30	確定 ●	13,279	×	あり	●			
							見込み			なし				
指標2	駅利用者数 (大袋駅)	人/日	8,733	H23	9,300	H30	確定 ●	9,089	×	あり	●			
							見込み			なし				
指標3	公園を使用した イベント回数	回/年	23	H23	27	H30	確定 ●	27	○	あり				
							見込み			なし				
指標4							確定			あり				
							見込み			なし				
指標5							確定			あり				
							見込み			なし				
その他の 数値指標1	近隣小学校児童数	人	1,405	H25			確定 ●	1,489						
その他の 数値指標2	計画区域内の バス停留所数	箇所	8.0	H25			確定 ●	17.0						
							見込み							
その他の 数値指標3							確定							
							見込み							



## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	人口データや駅利用者数などの各数値は、本市統計年報や鉄道事業者からの情報提供にて毎年数値を確認することができるため、事業の成果を適宜確認することができ適切である。公園を使用したイベント回数の計測も地域住民活動状況を把握することができた。	人口データ、イベント回数等は、毎年度データ算出できる指標であり、事業の成果を適宜確認することが出来るため、指標の設定としては適切なものであるが、一部集計に手間を要する指標もあるため正確な作業が必要である。
	うまくいかなかった点	西大袋土地区画整理事業地内の人口集計について、統計年報の字別集計では地区外の人口が含まれるため地番毎のデータの集計を行っているが、目標設定に係る従前値の集計の際に重複があり、結果的に数値目標が達成できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	数値目標の設定項目については、事業の成果を把握するのに適切なものであった。地区内人口を集計する際、従前値の算出エリアの記録を保管していたため、確定値の算出根拠を明確にすることができた。公園を使用したイベント回数の計測も地域住民活動状況を把握するのに有効である。	各指標の基となる各種データの集計等を正確に行うと共に、従前値の算出方法等の詳細な記録を保管しておくことが必要である。
	うまくいかなかった点	西大袋土地区画整理事業地内の人口集計について、統計年報の字別集計では地区外の人口が含まれるため地番毎のデータの集計を行っているが、目標設定に係る従前値の集計の際に重複があり、数値目標と評価値との整合性が取れなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	区画整理情報誌の定期的な発行や当計画の市ホームページへの掲載等を通じて、事業の進捗状況や計画の詳細事項等について、行政と住民との間で情報の共有が図れた。	住民参加はまちづくり事業を円滑に行う上で重要であり、情報提供は必須である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	採用した指標の大部分は、毎年度発行される本市統計年報により数値が整理、公表されているものであるため、事業の成果を適宜確認することができた。	事業効果の適宜確認は、事業の進捗状況、整備効果を確認できるため有効である。次期計画においても地区内人口、駅利用者、公園利用等の指標は継続して評価指標として観測することが有効である。
	うまくいかなかった点	地区内人口に関して、社会的要因として土地区画整理事業完了地区である千間台西地区において人口減少傾向の影響が出ている。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の交付金の活用予定  
 北部副次核形成地区については、現在第3期(H26～H30)を実施中であるが、第4期(H31～35)の活用も検討している。(土地区画整理事業、公園、地域交流センター等)。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	H31. 2. 1 ~H31. 2. 14	H31. 2. 1 ~H31. 2. 14	担当課への郵送、 FAX、電子メール、窓口受 付	市街地整備課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	市街地整備課窓口に原案提 示	H31. 2. 1 ~H31. 2. 14	H31. 2. 1 ~H31. 2. 14		

住民の意見	特になし				
-------	------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	深堀 清隆 埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 小林 美紀 東京電機大学非常勤講師	平成31年2月	都市計画課 市街地整備課	越谷市社会資本整備総合交付金事業評価事務取扱要領	越谷市公共事業再評価委員会の委員により構成
その他の委員	大里 定則 埼玉弁護士会越谷支部 弁護士 瀧田 貴夫 越谷商工会議所 常議員				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特に意見はなし
	成果の評価	・地区内人口に関し、従前値の計測において重複計上が判明し、実際の従前値との差が生じている。本件については、従前値を修正すると目標値も変わってしまうが、正しい値で目標達成度を評価したほうが、より正確な評価ができる。 ・人口増減について、年代別のデータ比較ができればよいと考える。また、鉄道利用者において、平均値だけでなく平日と週末の利用者数の比較もあればよい。
	実施過程の評価	特に意見はなし
	効果発現要因の整理	特に意見はなし
	事後評価原案の公表の妥当性	特に意見はなし
	その他	特に意見はなし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	特に意見はなし
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・拠点施設について、具体的なイメージを提示できれば、まちの魅力向上に貢献できると考える。さらに、民間事業者との連携などにより、地区の付加価値を増加させるなど、住環境の向上について、今後のまちづくりの方策等に記載することも必要。
	フォローアップ	特に意見はなし
	その他	特に意見はなし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	特に意見はなし
その他	<p>・各委員の都合を合わせるの難しいかも知れないが、現地視察などを行い、各委員がさらに北部副次核の整備について理解が深まれば、さらによい議論、評価等ができると思う。また、委員会の意見聴取について、公共事業再評価委員に依頼しているが、事後評価にあたっては委員会の位置づけを考えるべき。</p> <p>今後、拠点施設の整備などにより、まちの魅力がさらに向上することを期待したい。</p>	

※1 審議事項の詳細は「評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

# 都市再生整備計画(第3回変更)

ほくぶふくじかくけいせい だい き  
北部副次核形成地区(第3期)

さいたま こしがやし  
埼玉県 越谷市

平成30年 2月



## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	越谷市	地区名	北部副次核形成地区	面積	191.4 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

### 目標

- 大目標 市北部の拠点となるにふさわしい、安全で快適な魅力あるまちづくりを図る。
- 小目標① 西大袋土地区画整理事業を中心とする良質な住環境を有する快適な住宅地の供給。
- 小目標② 西大袋土地区画整理地区内道路の整備と併せて隣接地域の既存道路改修による交通環境および交通利便性の向上。
- 小目標③ 計画的な公園整備による潤いと魅力ある住環境の形成。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、第4次越谷市総合振興計画や越谷市都市計画マスタープランにおいて、越谷市北部の副次核(拠点)として商業及び行政サービス関連施設などの諸機能の導入が位置づけられている西大袋土地区画整理事業地区、並びに西大袋区画整理地区の北側に位置する千間台土地区画整理事業地区(施行済)の一部により形成されている。
- ・本地区は都心から約30kmに位置し、多くが田園地帯であった地域であるが、昭和45年より千間台土地区画整理事業(昭和56年換地処分済)によるまちづくりを行い、また平成8年より西大袋土地区画整理事業(平成32年度換地処分予定)を施行中である。
- ・西大袋土地区画整理地区内では、土地区画整理事業開始当初から地元住民による「まちづくり委員会」が組織され、今後の魅力あるまちづくりについて検討を行い、平成13年には緑豊かで快適な住環境の実現を目標として地区計画を策定するなど、まちづくりへの関心が高い地区である。
- ・本地区においては、平成16年度から20年度において第1期、平成21年度から25年度において第2期の都市再生整備計画を策定し、まちづくり事業を行ってきた。第1期では西大袋土地区画整理事業や公園整備事業のほか、平成17年度に消防署新設、平成18年度に公営住宅を整備し、第2期では第1期に引き続き西大袋土地区画整理事業や公園整備事業のほか、東武スカイツリーライン大袋駅に係る駅舎改修を行った。このように第1期および第2期の各事業の進捗により、まちづくりに係る一定の成果は得られたが、西大袋土地区画整理事業の進捗が不十分であったため、区画整理事業の着実な進捗による早期完成が求められている。
- ・西大袋区画整理事業地区の北側に隣接する千間台西4丁目、5丁目及び6丁目地域は、千間台区画整理事業により整備された地域であるが、換地処分から30年以上経過し、千間台地区と西大袋地区とを結ぶ道路が劣化してきており、西大袋土地区画整理事業による道路整備事業に併せて千間台エリアの道路改修が求められている。
- ・西大袋土地区画整理事業の進捗に伴い、宅地の整備と並行して計画的に公園を整備し、良好な住環境の整備が求められている。

#### 課題

- ・平成20年度までの第1期計画及び平成25年度までの第2期計画において、消防署建設による消防力の強化や公営住宅建て替えによる居住環境の向上、大袋駅舎改修による交通利便性の向上など一定の成果は得られたが、一方では移転補償交渉の難航等により西大袋土地区画整理事業の進捗が事業計画通りに進まず、事業完了予定年度を平成24年度から平成32年度に8年延伸する事業計画の変更を行っている。土地区画整理事業の遅れは、地区内人口の増加等の指標にも影響を与えるものであり、従って当整備計画においては土地区画整理事業による道路整備や建物移転等の着実な進捗が大きな課題となる。
- ・西大袋土地区画整理事業地区と北側に隣接する千間台西地区とを結ぶ道路について、整備後30年以上経過しており早期に道路改修の必要があるが、西大袋土地区画整理事業地区内の道路整備と併せて施行することによる効率的な事業執行を図る必要がある。
- ・快適で魅力あるまちづくりを実現するために、道路・下水等のライフラインの整備や公園の適正な配置を行い、越谷市北部の拠点地域にふさわしい機能の集積を図る必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### 【第4次越谷市総合振興計画】

- ・越谷市北部の拠点として西大袋土地区画整理事業による計画的な都市基盤の整備を行い、また市北部の魅力づくりやにぎわいの形成を図るため、西大袋土地区画整理事業地区の中央部に位置する調整池・近隣公園・公共公益施設用地内に地区センター・公民館や図書館等の機能を備えた複合拠点施設の整備を図る。

##### 【都市計画マスタープラン】

- ・越谷市北部副次核として安全で生活利便性に優れ、商業・行政等の機能を備えた複合拠点市街地の形成を図るとともに、水と緑に恵まれた潤いのある住宅地の形成を図る。
- ・越谷市北部副次核に係る都市計画道路等の整備状況に合わせてバス事業者と連携し、バス路線網の再編整備を図る。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
地区内人口	人	住民基本台帳による調査	快適な住宅地の供給により、地区内人口が増加すると考えられる。	13,306	平成25年度	15,000 平成30年度
駅利用者数(大袋駅)	人/日	通勤・通学等で駅を利用する人数(乗車人数)	快適な住宅地の供給による地区内人口の増加及び駅へのアクセス道路の整備等により、交通利便性の向上が図られ、駅利用者が増加すると考えられる。	8,733	平成23年度	9,300 平成30年度
公園を使用したイベント回数	回/年	地区内都市公園を使用した各種イベント等開催回数	公園の整備を行い、各種イベント等の開催を行うことのできる場を創出することにより、住民間の相互交流を深め、潤いと魅力ある地区の形成が図られると考えられる。	23	平成24年度	27 平成30年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 快適な住宅地の供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良質な住環境を有する快適な住宅地を創出するため、西大袋土地区画整理事業の推進を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 土地区画整理事業：西大袋土地区画整理事業</p> <p>【関連事業】 土地区画整理事業：西大袋土地区画整理事業</p>
<p>整備方針2 交通環境及び交通利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西大袋土地区画整理地区内道路の整備と併せて隣接地域の既存道路の改修を行い、西大袋地区と千間台地区の交通環境及び交通利便性の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 道路事業：市道2050号線外4路線</p> <p>土地区画整理事業：西大袋土地区画整理事業</p> <p>【関連事業】 土地区画整理事業：西大袋土地区画整理事業</p>
<p>整備方針3 魅力ある住環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西大袋土地区画整理事業の進捗に併せて計画的に公園を整備し、うるおいと魅力あるまちづくりを図る。</li> <li>・西大袋区画整理事業の進捗と併せて地域活動の拠点となる集会施設の建設整備補助を行い、地域住民の活発な相互交流を図ることにより、安全・快適で魅力あるまちづくりを図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 公園事業：(仮称)千間台西公園外2箇所</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業：(仮称)大道集会施設建設補助事業外1箇所</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市再生整備計画について 平成16年度から平成20年度の期間で都市再生整備計画【第1期】を策定し、道路・下水・公園等の整備や消防力の強化等、一定の成果を得ている。 第1期計画に引き続いて、平成21年度から平成25年度の期間で都市再生整備計画【第2期】を策定し、道路・下水・公園等の整備や駅舎建設等の交通利便性の向上等、一定の成果を得ている。</li> <li>○交付期間中の計画の管理について 各種の事業を円滑に執行するため、事業各課に担当者置き、適宜打ち合わせ等を行いながら問題点等の処理や計画の改善を検討する。 西大袋土地区画整理事業地区内の住民等に対して、事業の進捗状況をお知らせする区画整理情報誌を発行する。</li> </ul>	

